

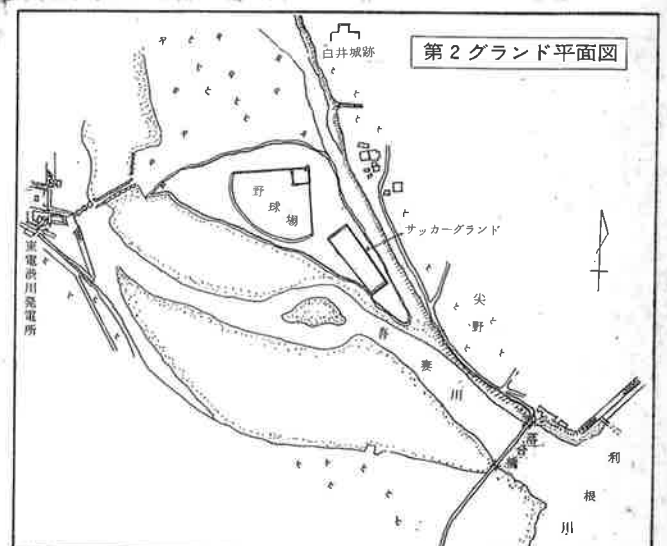


創立50周年記念事業完成記念



記念会館・第2グラウンド
落成式 昭和46年12月4日

群馬県立渋川高等学校



◇御礼の言葉

記念事業の落成にあたって

記念事業実行委員長（同窓会長） 真 下 玄 永

校庭の桜の姿に、正門にそそり立つ大銀杏の面影に、創立以来過ぎし日々のいのちのこえが聴かれます。これらは、激動の半世紀の歴史の中を歩みつづけて今日を迎えたわけであります。紺碧の赤城、榛名の山なみが昔と同じように鮮やかな色合いを見せているのに対して、茜さす校舎は昔日の面影もなく一新し、その秀れた施設は風光明媚な環境と相まって県下に誇り得るまでに形態を整えてまいりました。これには、歴代校長をはじめとして長年にわたる教師、生徒、PTA、同窓会、そして地域の方々のわが母校に対する熱意と尽力とが、その成果をもたらしたものだと思います。

このたび落成をみるのに至った記念事業の第一に、同窓記念会館があげられます。この施設は、生徒の合宿訓練に、あるいは研修の場として、同窓の先輩から在校の後輩に贈る人格練磨の道場であります。また一方には、同窓生が母校を訪れる際の和と協力を象徴する記念碑でもあります。記念事業の第二はグラウンドであります。創立以来拡張されないまま狭隘をかこっている運動場の悩みを解決すべく利根、吾妻両河川の合流点、眺望絶佳の白井城址下に建設し、このほど竣工をみました。第二グラウンドは記念会館と共に記念事業の軸をなすものであり、スポーツを通して心身を練磨し人格形成を図る目的のもとに創られた施設であります。

この事業の遂行にあたって、先生方が職務の傍ら誠心誠意御努力くださったことは敬服の至りであります。また、PTA会員の方々に於いては大きな予算を快く引き受けてくださり、同窓生各位には、かつてないほどの御協力と募金にご活躍いただきました。心より厚く御礼申し上げます。

本校の生徒諸君もこの真心のこもった贈り物を充分に活用され次代をになう心身の礎をこの施設において築かれんことを確信いたします。

本校の益々発展されることを願い関係皆様のご多幸を祈念して挨拶いたします。

御 礼 の こ と ば

記念事業実行副委員長（PTA会長） 佐 藤 直

空青く、大気澄みわたる秋は、高校生にとりましても、勉学の候であり、体力充実のシーズンでもあります。物的資源とばしき我が国で、堅実な頭脳の人的資源こそは、世界に誇るべき日本最大の資源でありましょう。かゝる人的資源の開発が一重にかゝって教育にあるを考える時、我等人の子の親として、精神的にも、物質的にも、投資の対象は教育にこそ最大のウェイトが置かれねばならぬと信ずるものであります。

知育の森はあくまでも「静」に、体育の「動」の丘は清く広くと念願して、本校五十周年記念事業には校史を編纂して、過ぎし五十年を温故すると共に校内植樹を整備し、新しき教育のこゝろみの場としての会館の建設、体力拡充の為の新広場第二グラウンドの新設を計画致しましたところ、三年有余にわたる建設期間中、諸官庁を初め本校関係有志各位、同窓各位、PTA各位の物心両面からの温かき御協力を頂き、今日ここに目度く完成の暁をむかえる事が出来ました事は誠に御同慶の至りでございます。つゝしんでこゝに厚く御礼申し上げる次第でございます。

最後に、本記念事業工事や校史編纂、募金活動等に於きまして幾多の難関に打ち当たりつゝも、縁の下の力持ち的な努力を重ねて下さった方々を私は終生忘れる事が出来ないでしょう。こゝに完成の喜びを共にすると同時に、合せて心かなる謝意を表する次第でございます。

学 校 長 梶 原 堅 二

皆様方の御協力によりまして念願でありました記念会館、第二グラウンドがこの程落成致しました。実は記念会館につきましては、夏休みから使用させていただいておりますが、至れりつくせりの完備した施設に、合宿した生徒達は、同音に感謝の言葉を述べており、お蔭様で合宿の効果も一段とあがっております。本当に有難うございました。厚く厚くお礼申し上げます。私達は皆様方の御厚志によって出来上りましたこの二つの施設を教室では得られない人間的ふれあいの場として教育上大いに活用していきたいと思っております。広いグラウンドで思いきり汗を流し、又、合宿することによって寝食を共にすることは、師弟の交流が密になるのみならず、友情を育てる絶好の場となり、何物にもかえがたいよき青春の思い出となることでしょう。本当に有難うございました。

◇記念会館

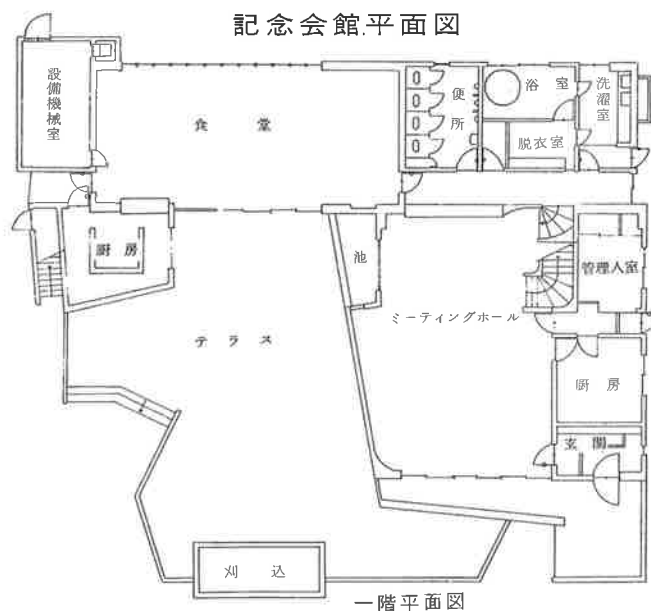


ホールと2階

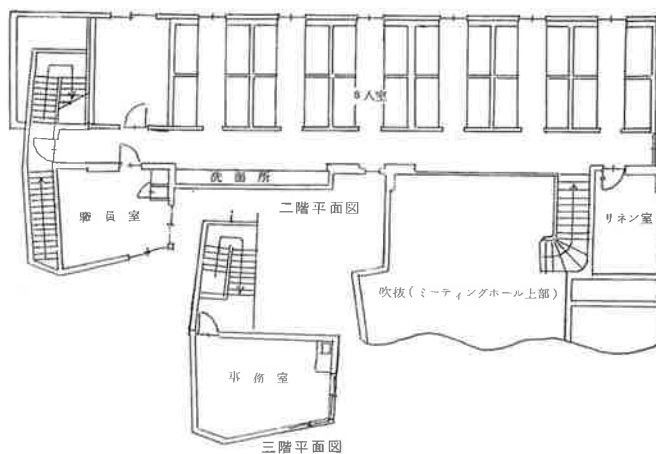


記念会館

記念会館平面図



一階平面図

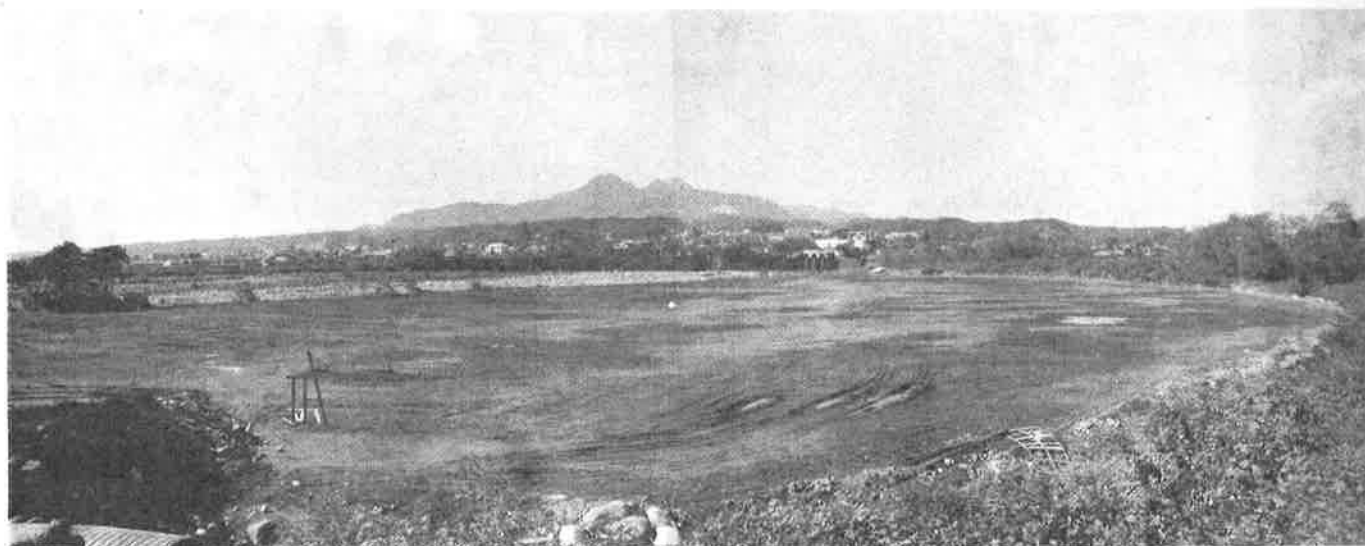


三階平面図

記念会館工事概要

1. 建築地 校地北東隅（校長公舎跡）
2. 設計 東京都立大学工学部 長倉康彦博士
伝設計事務所 伊藤伝三氏
3. 施工 北部土建工業株式会社
4. 構造 鉄筋コンクリート3階建
5. 総面積 451.55 m^2
6. 費用 32,526,000円
7. 起工 昭和45年11月1日
8. 竣工 昭和46年6月30日

◇第2グラウンド



撮影 一場英樹（滋高2年）

工 事 概 要

- | | |
|--------|--|
| 1. 建設地 | 渋川市阿久津真木島 351（吾妻川河川敷） |
| 2. 総面積 | 33,266 m^2 |
| 3. 費用 | 10,465,000円 |
| 4. 施工 | 小山建設工業株式会社
北部土建工業株式会社
有限会社 関東重機建設
陸上自衛隊第104建設大隊 |
| 5. 起工 | 昭和46年4月5日 |
| 6. 竣工 | 昭和46年11月30日 |

50周年記念事業経過

- | | | |
|-------|--------|---|
| 昭和44年 | 5月27日 | 東京都立大長倉教授を招き渋川高校の未来図について懇談 |
| | 8月27日 | 創立五十周年記念事業として第2グラウンドの建設を確認 |
| | 9月22日 | 五十周年記念事業実行委員会発足 |
| 昭和45年 | 3月20日 | 記念事業として記念会館、第2グラウンドの建設、校史の編集
同窓会々員名簿の作成具体化 |
| | 6月 8日 | 記念会館の設計を長倉教授に依頼 |
| | 7月18日 | 記念事業募金委員会の発足 |
| | 9月 7日 | 第2グラウンド用地として河川敷を測量 |
| | 10月30日 | 五十周年記念式典を挙行政 |
| 昭和46年 | 4月 8日 | 第2グラウンド整地作業開始 |
| | 7月21日 | 記念会館にてクラブ合宿開始 |
| | 8月 1日 | 第2グラウンドの盛土、転圧工事開始 |
| | 11月 9日 | 記念会館にてホーム・ルーム合宿開始 |